

平成28年度伝統文化継承事業

伝統文化継承事業は、地域における人と人との絆を深めることにより、コミュニティを再生し、安全・安心な地域社会を取り戻すため、地域の伝統・文化・風習の継続又は復活を支援します。平成28年度は5か年計画の最終年度として、引き続き「ぐんま地域文化マップ」の運営や県内伝統文化の状況を把握し、伝統文化の継承と発展を目指した取り組みを行います。

1 事業主体 公益財団法人群馬県教育文化事業団

2 組織

○ぐんま伝統文化継承委員	新井小枝子 (群馬県立女子大学文学部准教授)
	板橋 春夫 (新潟県立歴史博物館参事)
	椎名 祐司 (群馬県地域づくり協議会会長)
	樽井 哲 (前群馬県社会教育委員連絡協議会副会長)
	西野 寿章 (高崎経済大学地域政策学部教授)
○ぐんま伝統文化調査員	伊藤 克枝 (富岡市職員)
	金井 庫治 (元沼田市史編さん委員)
	金井 竹徳 (沼田市文化財調査員)
	関 孝夫 (上尾市職員)
	鈴木 英恵 (パース大学非常勤講師)
	永島 政彦 (群馬県立太田フレックス高等学校教諭)
	萩原 京子 (藤岡市文化財保護審議員)

3 事業概要

(1) ぐんま地域文化マップ運営

地域の伝統文化情報を提供する「ぐんま地域文化マップ」(群馬県教育文化事業団ホームページ)の掲載情報を更新及び充実させ、地域文化振興に役立てます。

(2) 伝統文化継承委員会の開催

伝統文化が継承されるための支援や方向性を専門的見地から検討し、伝統文化継承事業の効果的かつ円滑な実施を確保し、県内伝統文化の継承発展を図ります。

(3) ぐんまの伝統文化調査

群馬の貴重な伝統文化を守り伝え、次世代に継承するため県内の伝統文化の状況を把握し、また伝統文化継承に向けての基礎資料とするため詳細な現地調査(10か所)を実施し、報告書を作成します。

(4) 伝統文化継承モデル事業の開催

県内各地の伝統文化への関心を高め、また伝統文化を継承するための発展的な取り組みを行います。

①篠笛の後継者育成事業「篠笛の技術講習会」

民俗芸能に欠かせない篠笛の後継者育成と技術向上を図るため、初心者を対象とした技術講習を行い、団体間のネットワーク作りと情報交換の場を提供します。

【日程】平成28年7月3日(日)、10日(日)、17日(日)全3回

【会場】群馬県生涯学習センター 会議室

【講師】岡部清風(現代邦楽会副会長・篠笛奏者)

【定員】20名程度(申込み多数の場合は、未受講者を優先して抽選)

②伝統文化継承ワークショップ(2事業)

- ・伝統文化継承の課題等について、意見交換の場を設営する(1回)。
- ・継承に課題を抱える地域に向けた住民の話し合いの場や体験の場を設営する(1か所)。

4 その他

伝統文化継承事業や本県伝統文化関係行事を積極的に広報する。